令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
数　学	数学Ｂ	２	２－Ａ

１．学習の到達目標

数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を伸ばしたい。また、数学的帰納法といった各種証明を通じて、論理的に物事を考え、日常においても論理的に思考し、差別なく判断できる心を育てたい。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	第１章　数列 第１節　等差数列と等比数列 第２節　いろいろな数列 第３節　漸化式と数学的帰納法	・事象から離散的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現して考察すること。等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求める方法について理解する。 ・漸化式について理解し、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりするとともに、事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用する。 ・数学的帰納法について理解し、自然数の性質などを見いだし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察する。
２学期	第２章　統計的な推測 第１節　確率分布 第２節　統計的な推測	・確率変数とその分布、統計的な推測について理解し、不確定な事象の考察に活用できるようにする。 ・確率変数及び確率分布について理解し、確率変数の平均、分散及び標準偏差を用いて確率分布の特徴をとらえる。 ・二項分布・正規分布について理解し、それを事象の考察に活用する。 ・標本調査の考え方について理解し、標本を用いて母集団の傾向を推測できることを知る。 ・母平均の統計的な推測について理解し、それを事象の考察に活用する。
３学期	第３章　数学と社会生活	・数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解するとともに、数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察する

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	定期考査・確認テスト・課題提出・授業に取り組む姿勢によって評価する。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し身に付ける。各単元における基本的な演算方法や定理を習得し、活用することができる。	事象を数学的に考察し、数学的知識・技能を応用して問題に取り組む姿勢や議論の方法を身につける。	数学の論理や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする授業に取り組む姿勢を身につける。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	新編　数学Ｂ（数研出版）
副　教　材	Study Up ノート　数学Ｂ（数研出版）